

**「大阪府スポーツ推進計画」これまでの取組
(平成24～28年度)**

平成29年5月2日

大阪府スポーツ推進審議会第2次大阪府スポーツ推進計画策定部会 資料

<p>【施策4】 地域スポーツクラブの相互連携の推進</p>	<p>●大阪府総合型地域スポーツクラブ交流大会（総合型クラブフェスタ）を、活動種目を超えて交流できる形態で開催した。</p> <p>→ フェスタ参加者数 H24 722人（17クラブ） H25 740人（21クラブ） H26 698人（19クラブ） H27 617人（18クラブ） H28 709人（17クラブ）</p> <p>●大阪府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を平成25年4月にNPO法人化し、各クラブが連携し研修会等、積極的な活動を実施した。</p> <p>→ 連絡協議会加入クラブ数 H28 24クラブ（38.7%）</p>
<p>【施策5】 地域スポーツクラブの学校体育施設の利用促進</p>	<p>●「府立高等学校等体育施設開放事業」により、府立高校の体育施設を地域スポーツクラブに開放した。</p> <p>→利用団体延べ数 H24 3,541団体 H25 3,785団体 H26 3,516団体 H27 3,623団体 H28 集計中</p>
<p>【施策6】 地域スポーツクラブと学校運動部活動との連携方策の検討</p>	<p>●文部科学省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業を府内のクラブが受託し、小学校体育に対する総合型クラブとの関わりのモデルケースを実践した。</p> <p>→ 例 H27 FC岸和田の指導員が小学校でダンスを指導</p> <p>●大阪府広域スポーツセンターやクラブアドバイザーと総合型地域スポーツクラブとの連携による運動部活動への支援策について協議した。</p>

②学校における体育・運動部活動の充実、及び学校体育と地域スポーツとの連携

施策 目標	<p>学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の発達段階に応じ、積極的に外遊びや運動・スポーツに親しむ習慣や意欲を養います。</p> <p>また、教員の指導力の向上やスポーツ指導者の活用などによる指導の充実、運動部活動の活性化などにより、児童生徒がスポーツの楽しさや喜びを味わえるようにするとともに、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを送れる資質や能力の育成を目指します。</p> <p>さらに、学校と地域社会全体が連携・協働して、地域スポーツクラブをはじめとした地域のスポーツ活動により、子どもたちがスポーツに積極的に参加できる環境を創出します。</p>
----------	---

主な施策の方向性	これまでの取組
<p>【施策1】 教科「体育」、「保健体育」の授業の工夫・充実</p>	<p>●府体育研修センター等を活用し、教科「体育」、「保健体育」における授業の工夫・充実を目指した教員対象の研修を実施した。</p> <p>→ 指導力向上研修等参加者数 H24 871名 H25 1,030名 H26 1,256名 H27 1,255名 H28 930名</p>
<p>【施策2】 教員の指導力の向上、地域スポーツ指導者の活用などによる指導の充実方策の推進</p>	<p>●高等学校における運動部活動に、地域との連携促進及び部活動の振興・発展に資するため、専門的な技術指導力を備えた外部の指導者を派遣した。（1運動部につき年間30回、指導時間約2時間/回）</p> <p>専門性を有しない顧問に代わり、個々の生徒の課題やニーズに応じた技術面、安全面での指導が可能となり、当該部活動の発展に大いに寄与した。</p> <p>→ 延べ派遣者延べ数 H24 300名 H25 317名 H26 313名 H27 302名 H28 287名</p>
<p>【施策3】 始業前や休み時間の活用など学校教育全体で創意工夫をこらした体力づくりの取組みの充実</p>	<p>●各小中学校に「体力づくり推進計画」のひな形を示す等策定を促した結果、「体育」の授業以外で体力向上の取組を行う小学校の割合が上昇した。</p> <p>→ 「体力づくり推進計画」を作成した小学校の割合 H25 50.7% H26 58.2% H27 65.5% H28 85.9%</p> <p>体育の授業以外で体力向上の取組を行う小学校の割合 H24 68.3% H25 75.8% H26 79.5% H27 82.1% H28 88.0%</p>

<p>【施策4】 小学校からの運動促進に向けた取組みの推進</p>	<p>●こども元気アッププロジェクト事業により大縄跳び、ドッジボール、駅伝の3競技の大会を開催し、学校での体力づくりの取組を推進した。</p> <p>→大会参加者数 H24 169チーム H25 177チーム H26 172チーム H27 161チーム H28 157チーム</p> <p>●府実施「子どもの体力サポート事業」において各市町村教育委員会と連携し、専門的な技術指導力を備えた外部指導者を学校に派遣し児童に直接指導することで、体力づくりを図っている。</p> <p>(体力向上方策の実践) → H28 18校へ派遣</p> <p>(「めっちゃスマ体操」「めっちゃWAKUダンス」の普及促進) → H28 43校へ派遣 → 児童アンケート効果(2月現在)</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">事 前</td> <td style="text-align: center;">事 後</td> </tr> <tr> <td>・運動やスポーツが好き、少し好き</td> <td style="text-align: center;">89.4%</td> <td style="text-align: center;">→ 92.0%</td> </tr> <tr> <td>・体育授業が楽しい、少し楽しい</td> <td style="text-align: center;">92.9%</td> <td style="text-align: center;">→ 94.4%</td> </tr> <tr> <td>・体を動かすことが楽しい、少し楽しい</td> <td style="text-align: center;">91.2%</td> <td style="text-align: center;">→ 93.2%</td> </tr> </table> <p>●府作成「めっちゃスマイル体操」「めっちゃWAKUWAKUダンス」の普及促進を通して児童の運動習慣を図っている。平成27年度から教員対象の研修会を開催するとともに指導解説DVDを作成、府内全小学校に配付し普及促進の一助とした。</p> <p>→ 研修会参加者数 H27 103人 H28 121人</p>		事 前	事 後	・運動やスポーツが好き、少し好き	89.4%	→ 92.0%	・体育授業が楽しい、少し楽しい	92.9%	→ 94.4%	・体を動かすことが楽しい、少し楽しい	91.2%	→ 93.2%
	事 前	事 後											
・運動やスポーツが好き、少し好き	89.4%	→ 92.0%											
・体育授業が楽しい、少し楽しい	92.9%	→ 94.4%											
・体を動かすことが楽しい、少し楽しい	91.2%	→ 93.2%											
<p>【施策5】 子どもの体力向上の重要性に関して保護者への啓発を推進</p>	<p>●毎日新聞社と協力して年3回「子ども元気アップ新聞」を発行(52万部)、府内全小学校の児童・教員に配付し、保護者の啓発をしている。(行) 小学生の運動・スポーツへの興味・関心を高めることに効果があると考えられる。</p> <p>→H23年11月 第1号発行、現在まで15回発行 (トップアスリートや大阪の小学生アスリートの活躍、子ども元気アッププロジェクトの取組等を掲載)</p>												

<p>【施策6】 生涯スポーツを見据えた運動部活動の運営等の改善・充実の推進</p>	<p>●文部科学省「運動部活動指導の工夫・改善支援事業」をH27・28の2年間受託し、府立学校の運動部活動に外部指導者を派遣するとともに、顧問教員と外部指導者の連携やスポーツ医・科学等で先見的な知見を等に有する外部指導者の活用について研究協議した。 個に応じた理論的な指導により部員の活動意欲が向上し、学校と地域の連携が深まり、生徒指導の充実化が図られた。</p> <p>→ 派遣者数 H27 39名（39校） H28 38名（38校）</p>
<p>【施策7】 大阪中学校体育連盟・大阪高等学校体育連盟との連携の推進</p>	<p>●保健体育課長が副会長、保健体育課主任指導主事が事務局長に就いており、両連盟との連携を推進している。</p> <p>●運動部活動の活性化を目的に教育庁で作成した「みんなが主役！運動部活動」について、年度当初の専門委員会議等で周知し積極的に活用するよう両連盟に促した。</p>
<p>【施策8】 地域と共同で学校体育施設を利用する活用方策の推進</p>	<p>●「府立高等学校等体育施設開放事業」により、各市町村・市町村教育委員会と連携して府立学校の開放を行い、府民が運動する場所を提供した。</p> <p>→ 提供回数 H24 9,256回（139校） H25 9,507回（139校） H26 8,801回（141校） H27 9,712回（143校） H28 10,909回（149校）（H28.12現在）</p>
<p>【施策9】 学校運動部活動と地域スポーツクラブの連携方策の検討</p>	<p>●文部科学省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業を府内のクラブが受託し、小学校体育に対する総合型クラブとの関わりのモデルケースを実践した。【再掲】</p> <p>→ 例 H27 FC岸和田の指導員が小学校でダンスを指導</p> <p>●大阪府広域スポーツセンター、クラブアドバイザーと総合型地域スポーツクラブとの連携による運動部活動への支援策について協議した。【再掲】</p>

③働く世代におけるスポーツ機会の充実

施策 目標	府民のスポーツ実施率（週1回以上スポーツをする人の割合）を高めるために、特にスポーツ実施率の低い、20歳代男性、30歳代女性、40歳代男性を主なターゲットとし、スポーツの持つ楽しさや、素晴らしさを知ってもらえるよう取り組みます。 また、市町村、スポーツ関係団体、企業と連携し、ライフステージに応じたスポーツ機会の充実を図ります。
----------	---

主な施策の方向性	これまでの取組
【施策1】 ホームページを通じたスポーツ情報の提供拡大	<p>●生涯スポーツのポータルサイト「なみはやスポーツネット」を通じて、様々なスポーツ情報を発信した。</p> <p>→ アクセス数 H24 185,749件 H25 249,653件 H26 263,335件 H27 243,261件 H28 269,563件</p>
【施策2】 市町村、スポーツ団体等との連携による様々なジャンルのスポーツ大会の開催	<p>●（公財）大阪体育協会、大阪府体育連合と連携し、府民体育大会及び大阪府総合体育大会を実施し、スポーツ振興の普及発展とアマチュアスポーツの精神の高揚、府民の健康づくりを推進した。</p> <p>→ 【府民体育大会】参加者数（競技数） H24 25,974人（58競技） H25 25,913人（58競技） H26 27,444人（60競技） H27 25,944人（60競技） H28 24,955人（60競技）</p> <p>【大阪府総合体育大会】参加者数（競技数） H24 15,762人（13競技） H25 15,533人（13競技） H26 15,374人（13競技） H27 15,291人（13競技） H28 15,187人（13競技）</p> <p>●市町村、市町村体育協会等で構成される、地域毎に設立されている「大阪府地域生涯スポーツ推進協議会」が実施する事業で、なわとび、ラジオ体操、ボウリング、玉入れ等府民が気軽に楽しむことができる様々なジャンルの大会を開催した。（大阪府補助は28年度をもって終了）</p> <p>→府補助数 H24 45事業 69,167人 H25 10事業 5,123人 H26 14事業 11,100人 H27 11事業 5,862人 H28 1事業 108人</p> <p>●府民スポーツレクリエーションフェスティバル共催スポーツ大会で様々なレクリエーション種目の大会を開催した。</p> <p>→ 共催スポーツ大会参加者 H24 10,116人 H25 11,844人 H26 11,046人 H27 10,266人 H28 9,813人</p>

【施策3】
ライフステージに応じたスポーツ活動への参加促進

●府民が気軽に参加できる、多世代、多種目の府民スポーツレクリエーションフェスティバルを開催した。

→ 府民スポレク参加者数 H24 27,400人 H25 31,100人
H26 29,600人 H27 29,500人
H28 32,500人

●（公財）大阪体育協会、大阪府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会等と連携して市町村やクラブを訪問する等、地域で気軽に各世代で参加できる総合型地域スポーツクラブの活動を支援した。

→ クラブ訪問件数 H24 10件 H25 25件 H26 19件
H27 35件 H28 3件

●府民のスポーツへの関心を高め、生涯スポーツの振興を図るため、府内で開催される様々なスポーツ大会を後援するとともに、知事賞・教育委員会賞を交付した。

→ 大阪府後援件数 H24 285大会 H25 248大会 H26 296大会
H27 274大会 H28 279大会
知事賞状交付件数 H24 339枚（129大会）H25 341枚（119大会）
H26 361枚（129大会）H27 404枚（123大会）
H28 336枚（120大会）
教委後援件数 H24 233大会 H25 249大会 H26 263大会
H27 271大会 H28 233大会（2月13日現在）
教委賞状交付件数 H24 173枚（29大会）H25 140枚（24大会）
H26 93枚（20大会）H27 142枚（25大会）
H28 124枚（19大会）2月14日現在
障がい者スポーツ大会後援件数
H24 18大会 H25 18大会 H26 25大会
H27 30大会 H28 21大会（11月末）

●大阪府立障がい者交流促進センター内に地域スポーツ振興課を設置（平成25年4月）小中高等学校や障がい者団体等に、スポーツ活動を支援した。

→ 実施 H25 49件（7,033人） H26 46件（5,963人）
H27 117件（24,818人） H28 集計中

●また、センター内では、障がい種別に対応した多様なスポーツ教室等を実施した。

- ・ファインプログラム（障がい者優先）
- ・リハスポーツ（脳卒中後遺症）
- ・リハスポーツ（重度身体障がい者個別水泳指導）
- ・アスリート強化練習会（視覚障がい者卓球STT）
- ・大阪府知的障がい者サッカー教室（J-GREEN堺）

<p>【施策4】 親子で参加できるスポーツ教室等スポーツ参加へのきっかけづくり</p>	<p>●スポーツ参加へのきっかけづくりとするため、H28年度から、府主催のイベントにおいて体力測定会やスポーツ体験会を実施した。</p> <p>→ H28 体力測定会 9回実施 総体験者数 2,161人 スポーツ体験会の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万博公園無料開放デーに合わせ、ヨガ体験会、ウォーキング講習会、ジョギング講習会、親子体操を実施 ・水都イベントでラグビー体験会、太極拳講習会を実施 ・体力測定会に合わせ、レクリエーションスポーツ体験会を実施 <p>●H27年度から、大阪府ボウリング連盟の協力を得て、親子で気軽に参加できる障がい者親子ボウリング大会を実施した。</p> <p>→ H27 第1回 参加者42名</p>
<p>【施策5】 地域スポーツクラブへの参加促進や企業との連携によるスポーツ機会の創出</p>	<p>●（公財）大阪体育協会、大阪府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会等と連携し、市町村やクラブを訪問する等、地域で気軽に各世代で参加できる総合型地域スポーツクラブの活動を支援した。【再掲】</p> <p>→ クラブ訪問件数 H24 10件 H25 25件 H26 19件 H27 35件 H28 3件</p> <p>●近年、若者が参加する民間企業企画のスポーツイベントが増加する中、ボランティア派遣や大会を後援する等、新たなスポーツ機会の提供を支援した。</p> <p>→ 例 大阪城ナイトラン、大阪城モーニングラン、バブルラン クリスマスチャリティランにボランティア派遣</p>
<p>【施策6】 市町村、企業と地域スポーツクラブ等の連携によるスポーツボランティア活動の推進</p>	<p>●府内大学と連携し、総合型地域スポーツクラブ交流大会、キッズスポーツフェスティバル等の府主催のイベントに学生がボランティアとして協力した。</p> <p>→ 連携大学 大阪体育大学 大阪教育大学 大阪成蹊大学 大阪大谷大学 帝塚山大学</p> <p>●大阪マラソンではボランティアの活躍によりホスピタリティが向上し大会が大きく盛り上がり、大阪の都市魅力を発信した。</p> <p>→ ボランティア数 第1～第6回大会平均 約10,000人</p>

④健康増進・生きがいくりのスポーツ推進

施策 目標	近年、健康増進を第一の目的として、ウォーキングやジョギングをはじめ、トレーニングや健康体操、スポーツ・レクリエーション等を行う人が増加しており、府民が気軽にスポーツ活動を行える環境を整備することが求められています。そのため、市町村やスポーツ関係団体等と連携し、スポーツに関する情報提供やイベント、実技研修会等の開催を通じて、府民のスポーツ活動の推進を図ります。
----------	--

主な施策の方向性	これまでの取組
<p>【施策1】 市町村、大学、企業、スポーツ関係団体等と連携した健康増進・生きがいくりのためのイベント、スポーツ教室等の開催</p>	<p>●府民が気軽に参加できる、多世代、多種目の府民スポーツレクリエーションフェスティバルを開催した。【再掲】</p> <p>→ 参加者数 H24 27,400人 H25 31,100人 H26 29,600人 H27 29,500人 H28 32,500人</p> <p>●府内大学が地域貢献の一環として総合型地域スポーツクラブを設立した。</p> <p>→ 例 大阪産業大学（いきいき大東クラブ） 大阪教育大学（大阪教育大学スポーツクラブ） 関西大学（関西大学カイザーズクラブ）</p> <p>●府民の主体的な健康づくりを支援するため、運動などの健康づくりを行った者に特典を付与する健康マイレージを導入する市町村に対し経費の一部を補助した。（市町村健康づくり推進事業）</p> <p>→ H27 9市町（堺市、枚方市、寝屋川市、藤井寺市、河内長野市、阪南市、豊能町、河南町、太子町） H28 18市町（堺市、吹田市、摂津市、枚方市、交野市、東大阪市、寝屋川市、羽曳野市、藤井寺市、河内長野市、泉大津市、岸和田市、泉佐野市、阪南市、島本町、河南町、太子町、熊取町）</p> <p>●自主的・主体的な健康づくり活動の奨励・普及を図るために、職場や地域で活動を積極的に行っている団体を「大阪府健康づくりアワード」として表彰した。</p> <p>→ 表彰数（応募数） H27 地域部門 5団体（37団体）、職場部門 4団体（10団体） H28 地域部門 8団体（20団体）、職場部門 8団体（16団体）</p> <p>●「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」※に大阪府選手団を派遣するため、卓球、テニス、ゲートボールなどの各種スポーツ競技選考会を開催した。 ※60歳以上の方を対象にした、スポーツ、文化、福祉の総合的な祭典</p> <p>→ スポーツ交流大会及びふれあいスポーツ交流大会参加者 H24：532名（14種目）H25：954名（19種目）H26：884名（16種目） H27：621名（18種目）H28：746名（19種目）</p>

<p>【施策2】 ウォーキング、ジョギング等を身近に楽しめる環境の整備</p>	<p>●府営公園を活用したウォーキング、ジョギングイベントの開催等、身近にスポーツに親しめる機会が提供されている。</p> <p>→ 例 ノルディックウォーキング講習会等（久宝寺公園）</p> <p>●府内ウォーキングマップを作成し、様々な機会を捉えて配布するとともにホームページで紹介した。</p> <p>→ 例 百舌鳥・古市古墳群ウォーキングマップ 大阪ミュージアム</p> <p>●自転車専用レーンを整備した</p> <p>→ 例 大阪市 堺市 茨木市 豊中市 枚方市 高石市</p>
<p>【施策3】 関係機関と連携した健康運動指導士等の活用推進</p>	<p>●府内の健康運動指導士数は増加、健康運動実践指導者数は微減している。</p> <p>→ 健康運動指導士 H24 1,143人 H25 1,202人 H26 1,247人 H27 1,314人 H28 1,347人 健康運動実践指導者 H24 1,852人 H25 1,756人 H26 1,757人 H27 1,743人 H28 1,694人</p> <p>●府民スポーツ・レクリエーションフェスティバルにおいて、H28年度から体力測定会を健康運動指導士を活用して実施した。</p> <p>→ 9回実施 総体験者数 2,161人</p>
<p>【施策4】 スポーツ安全保険等の加入奨励</p>	<p>●スポーツ安全保険加入依頼書について、府内体育施設や市町村教育委員会等に配置するとともに、前年度加入団体に（公財）スポーツ安全協会大阪支部から案内した。</p> <p>→ スポーツ安全保険加入者数 H24 518,196人 H25 512,538人 H26 501,234人 H27 497,009人 H28 484,827人（H29.1/16現在）</p>

⑤スポーツを「ささえる」人材の養成

施策 目標	<p>スポーツをささえる人材（スポーツ指導者、ドクター、栄養士、スポーツボランティア、マネジャー等）が互いに協力しあえるネットワークの構築を支援します。</p> <p>また、スポーツ団体や地域スポーツクラブ等の活動・運営を自らマネジメントする人材の養成を支援します。</p>
----------	---

主な施策の方向性	これまでの取組
<p>【施策1】 スポーツ関係団体との連携によるスポーツをささえる人材の養成</p>	<p>●（公財）大阪体育協会において、日本体育協会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修を兼ねた指導者等の資質向上を図る研修会を開催した。</p> <p>→ 日本体育協会公認スポーツ指導者登録者数（大阪府） H24 7,349人 H25 7,534人 H26 7,060人 H27 7,291人 H28 7,587人</p> <p>●（公財）大阪府レクリエーション協会と連携し、レクリエーション・インストラクター、レクリエーション・コーディネーター等のレクリエーションスポーツの指導者を養成した。</p> <p>→ 日本レクリエーション協会認定資格者数（大阪府） H24 3,287人 H25 3,104人 H26 2,665人 H27 2,153人 H28 2,111人</p> <p>●府内における障がい者スポーツをより推進するため、ファインプラザ大阪において、十分な知識、技術と経験に基づいた指導ができる障がい者スポーツ指導員の養成に努めた。</p> <p>① 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 ② 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 ③ 障がい者スポーツ指導員等現任講習会</p> <p>→ 障がい者スポーツ指導員登録者数（大阪府） H24 942名（初級695名 中級212名 上級35名） H25 996名（初級744名 中級215名 上級37名） H26 1,021名（初級744名 中級237名 上級40名） H27 1,156名（初級855名 中級258名 上級43名） H28 1,169名（初級842名 中級283名 上級44名）</p>

<p>【施策2】 スポーツボランティア団体の育成、活動の支援</p>	<p>●なみはや国体でのボランティア参加者を中心に設立されたもずやんV・Sクラブの事務局を府民文化部に置き、活動や育成を支援した。</p> <p>→ ボランティア派遣回数 H24 25事業 (803人) H25 24事業 (596人) H26 29事業 (728人) H27 37事業 (796人) H28 35事業 (840人)</p> <p>●大阪マラソンではボランティアの活躍によりホスピタリティが向上し大会が大きく盛り上がり、大阪の都市魅力を発信した。【再掲】</p> <p>→ 第1～第6回大会平均 約10,000人</p>
<p>【施策3】 市町村、関係団体との連携によるクラブマネージャー養成講習会等の開催</p>	<p>●(公財)大阪体育協会と連携してアシスタントマネージャー養成講習会を運営した。【再掲】</p> <p>→ 参加者数 H24 43名 H25 44名 H26 31名 H27 37名 H28 46名</p>
<p>【施策4】 救急処置法、ドーピング、スポーツ傷害予防等、安全なスポーツ活動に関する研修会の開催</p>	<p>●(公財)大阪体育協会において、公認スポーツ指導員等を対象にした競技力向上セミナー、医・科学セミナーで研修会を開催した。</p> <p>→ 参加者数 H24 483名 H25 472名 H26 506名 H27 540名 H28 492名</p>
<p>【施策5】 施設管理者を対象としたスポーツ事故等に関する研修会の開催</p>	<p>●「学校体育活動等における事故防止に関する研修会」において、学校体育活動等における事故防止、水泳プールの安全指導、学校管理下の事故状況についての研修会を実施した。</p> <p>→ 参加者数 H24 165名 H25 189名 H26 146名 H27 145名 H28 154名</p> <p>●「プールの安全標準指針」の送付や安全確保の依頼により周知徹底を図っている。</p>

【施策6】
スポーツに携わる人材の有効活用を図るネットワークづくり

●レクリエーション協会指導者、総合型地域スポーツクラブ関係者、スポーツ少年団関係者が一同に会し、団体間の垣根を超えて研修、交流、情報交換を行う地域スポーツネットワーク会議を開催した。【再掲】

→ 参加者数 H24 21名 H25 51名 H26 29名 H27 40名 H28 49名

●地域との連携促進及び部活動の振興・発展に期するため、高等学校の運動部活動に専門的な技術指導力を備えた外部の指導者を派遣した。（1運動部につき年間30回、指導時間約2時間/回）
専門性を有しない顧問に代わり、個々の生徒の課題やニーズに応じた技術面・安全面での指導を通じて当該部活動の発展に大いに寄与した。【再掲】

→ 延べ派遣者数 H24 300名 H25 317名 H26 313名 H27 302名 H28 287名

●障がい者スポーツ大会等に地元在住の障がい者スポーツ指導員を派遣する等、指導員の活動の場を確保しつつ、地域における障がい者のスポーツ活動を促進した。

→ 派遣者数 H25 55名（10回） H26 58名（4回）
H27 6名（5回） H28 7名（6回）

⑥ 「いつでも」「どこでも」「気軽に」スポーツに取り組める障がい者スポーツの推進

施策 目標	<p>スポーツは、障がい者の生きがいがづくり、社会参加の促進に非常に有益であり、リハビリテーションや健康増進のみならず、スポーツに親しむ習慣や意欲を養うことも必要です。</p> <p>このことから、障がい者スポーツを支える指導員等の養成や派遣、スポーツをする機会や場の創出を促進するための市町村の取組みを支援し、「いつでも」「どこでも」「気軽に」スポーツに親しめる環境づくりを推進します。</p>
----------	--

主な施策の方向性	これまでの取組
<p>【施策1】</p> <p>・大阪府障がい者スポーツ大会やスポーツ体験教室の開催</p>	<p>●障がい者スポーツの競技性を高めるとともに、障がい者一人ひとりの競技力の向上を図ることを目的に、府内における競技スポーツの祭典として、大阪府障がい者スポーツ大会を開催した。</p> <p>→ 大阪府障がい者スポーツ大会参加者数 H24 914名 H25 918名 H26 910名 H27 904名 H28 916名 (横ばい)</p> <p>●障がい者スポーツの裾野を拡大するため、各種のスポーツ体験教室を実施した。</p> <p>→ 体験教室例 H24 ビームライフル・アイススケート・卓球 H25 アイススケート H26 アイススケート・フライングディスク・ボッチャ 車椅子バスケット・サウンドテーブルテニス H27 車いすハンドボール・ボッチャ・卓球・陸上 シッティングバレーボール H28 アイススケート・サッカー・アンブティサッカー等</p>
<p>【施策2】</p> <p>・全国障害者スポーツ大会への府選手団の派遣</p>	<p>●障がい者のスポーツの振興と国民の障がい者に対する理解と認識を深めることを目的に開催される全国障害者スポーツ大会に選手団を派遣し、選手自身が競技力レベルを知ること、より一層の競技力の向上を図っている。</p> <p>また、初出場選手の選抜に配慮し、大阪府大会出場への意欲を高め、新たな参加者の裾野拡大を図っている。</p> <p>大会実施競技においては強化練習会を各競技ごとに5日間実施しており、獲得メダル数は、H26において、東京都に次ぎ2番目と徐々に競技力向上の成果が表れている。</p> <p>→ 全国障がい者スポーツ大会獲得メダル数 H24 個人 97 団体1 H25 個人93 団体1 H26 個人101 団体1 H27 個人106 団体1 H28 個人96 団体1</p>

<p>【施策3】 ・障がい者スポーツ指導員の養成・派遣による障がい者のスポーツ活動の促進</p>	<p>●府内における障がい者スポーツをより推進するため、ファインプラザ大阪において、十分な知識、技術と経験に基づいた指導ができる中級障がい者スポーツ指導員の養成に努めた。</p> <p>① 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 ② 中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 ③ 障がい者スポーツ指導員等現任講習会</p> <p>→ 障がい者スポーツ指導員登録者数（大阪府） H24 942名（初級695名 中級212名 上級35名） H25 996名（初級744名 中級215名 上級37名） H26 1,021名（初級744名 中級237名 上級40名） H27 1,156名（初級855名 中級258名 上級43名） H28 1,169名（初級842名 中級283名 上級44名） 【再掲】</p> <p>●地域のスポーツ行事等に指導員を円滑に派遣するため、障がい者スポーツ指導員派遣システムを構築した。</p>
<p>【施策4】 ・大学、企業、スポーツ団体等の活用による障がい者スポーツの啓発</p>	<p>●ファインプラザ大阪において、大阪府立大学や大阪体育大学等と事業連携し、「ふれあい乗馬体験講習会」「ぴかっとダンス」「車椅子テニス講習会」等を実施した。 また、周辺地域の自治会や福祉施設等と連携し、「ファインエリアフェスティバル」の開催や、「クリスマスのつどい」「子どもの日のつどい」「新春卓球まつり」などを開催し、障がい者スポーツを啓発した。 平成28年度には、大規模イベントによる障がい者スポーツ啓発イベントを民間企業と連携して実施した。（万博記念公園）</p>
<p>【施策5】 ・地域スポーツクラブの活用による障がい者スポーツの裾野拡大</p>	<p>●大阪府障がい者スポーツ協会を通じて、指導者派遣や用具提供等のモデルを構築している。</p> <p>→種目事例：フライングディスク・ボッチャ・サウンドテーブルテニス・車いす・卓球・ヨガ等</p> <p>対象者：障がい者、障がいのない方、指導者等 開催場所：総合型地域スポーツクラブもしくは近隣施設 指導者：大阪府障がい者スポーツ協会から派遣</p> <p>H24 NPO法人門真はすねクラブ H25 光クラブ（和泉市） H26 NPO法人化土間はすねクラブ・光クラブ H27 クラブによる自主開催が可能となり用具貸出のみ H28 平成27年度と同様</p>

【施策6】

・障がい者スポーツの振興を行う団体の育成・支援

●ファインプラザ大阪において、「大阪府障がい者スポーツ協会」事務局を設置（「大阪障害者フライングディスク協会」「近畿身体障害者水泳連盟」の事務局も兼ねる）。

●各市町村や障がい当事者団体のスポーツ大会イベント等の開催支援や審判員の派遣等を行っている。

●（公財）大阪府レクリエーション協会では「障がいのある人とない人のスポーツ・レクリエーション交流事業講習会」を開催した。

→ H28 7/5(土) 10:30～16:00 大阪府立体育会館

1. スポーツ・レクリエーション交流事業の意義や内容、実施の体制づくりや人材や財源の確保の方法等
2. スポーツ・レクリエーション活動を工夫し、実際に試して、参加者目線で改善をする体験
3. 障がいのあるなしにかかわらない仲間づくりに向けて、スポーツ・レクリエーション活動を通して交流

2. スポーツの活力を生かした都市魅力の創造

① トップアスリート等が府民とふれあう機会の充実

施策 目標	スポーツ団体やプロスポーツチーム等と連携し、一人でも多くの方に、トップアスリートとふれあい、スポーツの持つ素晴らしさを経験できる機会を提供することで、スポーツをするきっかけづくりを進めます。 また、トップアスリートが地域住民に貢献できるシステムづくりを進めます。 大阪で開催されるトップチームやトップアスリートの競技を観戦できる機会の提供に努めます。
------------------	---

主な施策の方向性	これまでの取組
【施策1】 関係団体や市町村との連携による、トップアスリートの府内小・中学校への派遣	●子どもたちが直接トップアスリートと触れ合うことのできる「トップアスリート小学校ふれあい事業」を実施した。 → 実施校数 H24 171校 H25 198校 H26 155校 H27 113校 H28 140校 協力チーム：オリックスバファローズ 阪神タイガース ガンバ大阪 セレッソ大阪 スペランツァ高槻 シュライカー大阪 大阪エヴェッサ 近鉄ライナーズ NTTドコモレッドハリケーンズ サントリーサンバーズ 堺ブレイザーズ パナソニックパンサーズ JTマーヴェラス
【施策2】 トップアスリートによる小学生を対象にしたスポーツ教室の開催	●トップアスリートによる小学生を対象にしたスポーツ教室「キッズスポーツフェスティバル」を開催した。 → 参加者数 H24 561名 H25 681名 H26 311名 H27 402名 H28 504名 協力チーム：オリックスバファローズ ガンバ大阪 セレッソ大阪 シュライカー大阪 大阪エヴェッサ 近鉄ライナーズ NTTドコモレッドハリケーンズ サントリーサンバーズ 堺ブレイザーズ パナソニックパンサーズ 大阪府テニス協会

<p>【施策3】 大阪で開催されるトップチーム等のゲームの情報提供や観戦優待事業等の推進</p>	<p>●「みる」スポーツの機会を提供するため、トップスポーツチームや競技団体等の協力を得て「観戦優待事業」を実施した。</p> <p>→ 提供ゲーム数（応募者数） H24 43ゲーム（2,812人） H25 52ゲーム（3,404人） H26 44ゲーム（2,106人） H27 58ゲーム（1,167人） H28 53ゲーム（1,520人） 実施競技：フットサル 野球 ラグビー サッカー バasketボール バレーボール</p> <p>●トップチームと府とのタイアップポスターを作成し、府内各学校やスポーツ施設に配付することによりチームやゲームの情報を提供した。</p> <p>→ H26～H28 オリックスバファローズ H26 スペランツァFC大阪高槻 H27 シュライカー大阪 H27～H28 ガンバ大阪、セレッソ大阪 オリックス・阪神・ガンバ・セレッソ4球団連携</p> <p>●競技団体やスポーツチームを保有する民間企業と協働し、主催する公式試合、競技大会等の観戦機会を障がい者に提供した。</p> <p>→ 観戦事業内容 ・J1リーグ戦（サッカー） ・トップリーグ（ラグビー） ・Vプレミアリーグ（バレーボール） ・Bリーグ（バasketボール） ・日本卓球リーグ</p>
<p>【施策4】 トップアスリートが地域スポーツで指導できるシステムの検討</p>	<p>●文部科学省「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」事業を府内の3クラブが受託し、トップアスリートが地域のジュニアアスリートを指導する試みを実施した。</p> <p>→ 実践例 ・NPO法人 いきいき大東クラブ トップアスリートが府内他クラブへ指導支援 H24 器械体操 サッカー 陸上競技 バasketボール 全25回派遣 参加者数計813名 H25 サッカー バasketボール 全14回派遣 参加者数計573名 ・NPO法人 FC岸和田 H25 車椅子バasketボール 車椅子マラソン サッカー 陸上 ダンス 全18回派遣 参加者数計975名 H26 陸上 サッカー 全80回派遣 参加者数計2,300名 H27 陸上 サッカー 全70回派遣 参加者数計1,730名 ・NPO法人 RE S C（サッカー）</p>

② トップアスリートを目指すジュニア選手や競技選手の養成

施策 目標	子どもたちがスポーツに夢や希望、憧れを抱き、トップアスリートを目指すことのできる環境を創出し、次世代アスリートの養成を図ります。 また、競技スポーツと生涯スポーツの好循環を創出し、スポーツの普及と競技選手の養成を図ります。
----------	--

主な施策の方向性	これまでの取組
【施策1】 トップアスリートを活用したスポーツの普及啓発の推進	●子どもたちが直接トップアスリートに触れ合うことのできる「トップアスリート小学校ふれあい事業」を実施した。【再掲】 → H24 171校 H25 198校 H26 155校 H27 113校 H28 140校 ○トップアスリートによる小学生を対象にしたスポーツ教室「キッズスポーツフェスティバル」を開催した。【再掲】 → 参加者数 H24 561名 H25 681名 H26 311名 H27 402名 H28 504名 協力チーム：オリックスバファローズ ガンバ大阪 セレッソ大阪 シュライカー大阪 大阪エヴェッサ 近鉄ライナーズ NTTドコモレッドハリケーンズ サントリーサンバーズ 堺ブレイザーズ パナソニックパンサーズ 大阪府テニス協会

【施策2】

スポーツの競技会における成績優秀者やスポーツ振興に貢献した人の顕彰事業の充実

●大阪府知事表彰体育功労者、大阪スポーツ賞体育功労賞、大阪スポーツ賞優秀選手賞、大阪スポーツ大賞体育功労者、スポーツ大賞優秀指導者、スポーツ大賞競技成績優秀者を表彰している。

→ 受賞者数	個人	団体
H24	375名	106団体
H25	351名	89団体
H26	351名	99団体
H27	351名	114団体
H28	405名	94団体

●府民に深い喜びと感動を与え、かつ、府の施策に大きな貢献をした者に対して、府民の栄誉と喜びを讃え、「感動大阪大賞」「感動大阪賞」を贈呈している。

→ H24	ロンドン・オリパラメダリスト	17名
H25	ソチ・オリパラメダリスト	1名
H26	ガンバ大阪（三冠）	
H28	リオデジャネイロ・オリパラメダリスト	16名
	大関豪栄道（九月場所全勝優勝）	

●大相撲大阪場所優勝力士の栄誉を讃え、知事賞及び副賞（府の特産物）を贈呈している。

●長年にわたりスポーツ・レクリエーション活動に親しむとともに、その普及振興を図り、健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のある個人・団体に対し「生涯現役スポーツ賞」を贈呈している。

→ 贈呈数	H24 69件	H25 64件	H26 74件	H27 79件	H28 86件
-------	---------	---------	---------	---------	---------

<p>【施策3】 大学、企業、スポーツ団体等と連携したスポーツの普及、競技力向上</p>	<p>●国民体育大会で上位の成績を残している。(H27年度70回大会、男女総合成績(天皇杯)5位、女子総合成績(皇后杯)3位)</p> <p>●「一般競技強化事業」は、今後国体の正式競技になる可能性のある公開競技に対する事業。また、「競技力向上事業」により府内スポーツ少年団の交流活動の促進や競技力向上、スポーツ少年団のリーダーの育成等若い世代への取組を行うことで、未来の府全体の競技力向上も図っている。</p> <p>●障がい者スポーツにおける競技スポーツ分野の指導力等を高めることを目的として、H25年度に大阪障がい者スポーツ協会内に、大学教授等を委員として「障がい者スポーツの振興に関する研究会」を設置した。 トレーニングプログラム・障がい者スポーツ行事の企画・運営マニュアル・障がい者スポーツ指導マニュアル等の開発を目指す。</p> <p>→ マニュアル骨子完成</p>
<p>【施策4】 国民体育大会への選手・役員派遣の支援の推進</p>	<p>●国民体育大会及び同近畿ブロック大会に派遣する選手に係る経費(宿泊費及び交通費)を各競技団体に対し助成した。</p> <p>→選手派遣数：H24 728人 H28 729人 補助額：H24 37,222千円 H28 59,026千円(予定)</p>

③大規模スポーツイベントの開催

施策 目標	大阪の魅力がスポーツを通じて国内外に発信され、世界・全国から人々が集うにぎわいの「まち」になるよう、大規模スポーツイベントを開催します。「する」「みる」「ささえる」スポーツとして府民の多くが参加し、大阪の都市魅力を高める大会の開催を目指します。
----------	--

主な施策の方向性	これまでの取組																												
<p>【施策1】 だれもが参加できる大規模なマラソン大会やサイクリング大会の開催</p>	<p>●多くの府民が参加するとともに、大阪の都市魅力を発信する「大阪マラソン」を開催した。海外からのエントリーが年々増加し、H28年度には1万人を突破した。沿道の観客数も年々増加している。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>エントリー数(内海外)</th> <th>出場者数(内海外/車椅子)</th> <th>倍率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>→①H23 10/30</td> <td>171,744(1,530)</td> <td>29,163(853/27)</td> <td>5.7</td> </tr> <tr> <td>②H24 11/25</td> <td>155,482(1,068)</td> <td>30,458(767/36)</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>③H25 10/27</td> <td>151,410(1,847)</td> <td>31,249(1,366/14)</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>④H26 10/26</td> <td>145,473(5,304)</td> <td>31,981(3,238/21)</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>⑤H27 10/25</td> <td>137,814(7,478)</td> <td>32,313(3,225/21)</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>⑥H28 10/30</td> <td>133,681(10,332)</td> <td>32,259(4,135/ 9)</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>沿道観客数 ①H23 100.85万人 ②H24 118.8万人 ③H25 125万人 ④H26 130万人 ⑤H27 132万人 ⑥H28 133万人</p>		エントリー数(内海外)	出場者数(内海外/車椅子)	倍率	→①H23 10/30	171,744(1,530)	29,163(853/27)	5.7	②H24 11/25	155,482(1,068)	30,458(767/36)	5.2	③H25 10/27	151,410(1,847)	31,249(1,366/14)	5.0	④H26 10/26	145,473(5,304)	31,981(3,238/21)	4.9	⑤H27 10/25	137,814(7,478)	32,313(3,225/21)	4.3	⑥H28 10/30	133,681(10,332)	32,259(4,135/ 9)	4.2
	エントリー数(内海外)	出場者数(内海外/車椅子)	倍率																										
→①H23 10/30	171,744(1,530)	29,163(853/27)	5.7																										
②H24 11/25	155,482(1,068)	30,458(767/36)	5.2																										
③H25 10/27	151,410(1,847)	31,249(1,366/14)	5.0																										
④H26 10/26	145,473(5,304)	31,981(3,238/21)	4.9																										
⑤H27 10/25	137,814(7,478)	32,313(3,225/21)	4.3																										
⑥H28 10/30	133,681(10,332)	32,259(4,135/ 9)	4.2																										

④国際大会、全国大会の招致

施策 目標	国際大会や全国大会の開催は府民のスポーツへの関心を高めるとともに、出場するトップチームやトップアスリートの活躍は、府民に大きな夢や感動を与えてくれます。 市町村、スポーツ団体等関係機関との連携により国際競技大会や全国大会等の招致及び円滑な開催を支援し、大阪の都市魅力を発信します。
----------	---

主な施策の方向性	これまでの取組
<p>【施策1】 府で開催が予定されている国際競技大会及び全国大会について円滑な実施を支援</p>	<p>●輪番開催される全国中学校体育大会、全国高等学校総合体育大会等について、中学校体育連盟、高等学校体育連盟と連携して実行委員会を設置し、府職員と連盟所属教員等による事務局を中心に大会を運営した。</p> <p>→ H23 全国中学校体育大会 (体操・バレーボール・水泳) H27 全国高等学校総合体育大会 (体操・バレーボール・ハンドボール・テニス・自転車競技・なぎなた)</p> <p>●府内で開催される国際競技大会や全国大会を後援するとともに、大会のポスター等を府内学校、施設等に配付した。</p>
<p>【施策2】 国際競技大会等の招致・準備、運営に関する支援、助言、情報交換・共有の仕組みについて検討</p>	<p>●ラグビーワールドカップ2019日本大会の会場の一つとして花園ラグビー場誘致に成功し、府・東大阪市で大会準備共同事務室を設置し、準備に当たっている。</p> <p>●関西広域連合が誘致していたワールドマスターズゲームズ2021関西の開催が決定した。</p> <p>→ 岸和田市 自転車BMX (岸和田競輪場) 東大阪市 ラグビーフットボール (花園ラグビー場) 泉南市 水泳オープンウォーター (たるいサザンビーチ) 堺市 サッカー・フットサル (Jグリーン堺) 大阪市 閉会式</p> <p>●東京オリンピック・パラリンピックに向け、 ・事前キャンプ誘致を進めるため、日本語版・英語版のホームページ、リーフレットを作成するとともに、誘致希望市町と調整を行っている。 ・ホストタウンの推進を図るため、市町村への情報提供、意向調査等を実施している。</p> <p>→ ホストタウン登録 H28 12月 大阪市 (オーストラリア) ・泉佐野市 (ウガンダ)</p>

⑤民間の力を活かした生涯スポーツの推進

施策目標	大学、企業、スポーツ団体等に蓄積された、スポーツ資源や人材を活かして生涯スポーツの推進を図ります。 大学、企業等が積極的に地域貢献、協賛、協力を行うことができる環境の整備を進めます。
------	--

主な施策の方向性	これまでの取組
【施策1】 大学、企業、スポーツ団体等と地域スポーツクラブとの連携の支援	<ul style="list-style-type: none"> ●大学の施設・資源を活用し、地域スポーツネットワーク会議を開催した。（H26年度 大阪体育大学） ●インターンシップやボランティアの大学生を受け入れる総合型地域スポーツクラブが増加している。 <ul style="list-style-type: none"> → インターンシップを活用しているクラブ 2クラブ ボランティアを活用しているクラブ 42クラブ ●地域貢献の一環として、大学による総合型地域スポーツクラブ設立の動きが活発化している。 <ul style="list-style-type: none"> → 大阪産業大学、関西大学、大阪教育大学
【施策2】 大学、企業、スポーツ団体等との協働による、トップアスリートやコーチの学校や地域等への派遣	<ul style="list-style-type: none"> ●大学、企業、競技団体等の協力を得て「トップアスリート小学校ふれあい事業」や「キッズスポーツフェスティバル事業」を実施した。【再掲】 →トップアスリート小学校ふれあい事業 <ul style="list-style-type: none"> 実施校 H24 171校 H25 198校 H26 155校 H27 113校 H28 140校 協力チーム：オリックスバファローズ 阪神タイガース ガンバ大阪 セレッソ大阪 スペランツァ高槻 シュライカー大阪 大阪エヴェッサ 近鉄ライナーズ NTTドコモレッドハリケーンズ サントリーサンバーズ 堺ブレイザーズ パナソニックパンサーズ JTマーヴェラス →キッズスポーツフェスティバル事業 <ul style="list-style-type: none"> 参加者数 H24 561名 H25 681名 H26 311名 H27 402名 H28 504名 協力チーム：オリックスバファローズ ガンバ大阪 セレッソ大阪 シュライカー大阪 大阪エヴェッサ 近鉄ライナーズ NTTドコモレッドハリケーンズ サントリーサンバーズ 堺ブレイザーズ パナソニックパンサーズ 大阪府テニス協会

【施策3】
大学、企業、スポーツ団体等との連携による「みる」スポーツの
推進

●「みる」スポーツの機会を提供するため、トップスポーツチームや競技団体等の協力を得て
「観戦優待事業」を実施した。【再掲】

→ 提供ゲーム数 H24 43ゲーム (2,812人) H25 52ゲーム (3,404人)
H26 44ゲーム (2,106人) H27 58ゲーム (1,167人)
H28 53ゲーム (1,520人)

実施競技：フットサル 野球 ラグビー サッカー バasketボール バレーボール

●競技団体やスポーツチームを保有する民間企業と協働し、主催する公式試合、競技大会等の観
戦機会を障がい者に対して提供した。

→ 観戦事業内容
・J1リーグ戦 (サッカー)
・トップリーグ (ラグビー)
・Vプレミアリーグ (バレーボール)
・Bリーグ (Basketボール)
・日本卓球リーグ

⑥競技スポーツとしての障がい者スポーツの振興

施策 目標	<p>2001年（平成13年）より毎年開催している「大阪府障がい者スポーツ大会」は、府内市町村から900名を超える選手が参加し、障がい者スポーツの裾野拡大に成果をもたらしています。</p> <p>今後は、各市町村の障がい者スポーツの取組みをサポートするとともに、障がい者スポーツを牽引していく選手を養成するため、競技力の向上に重点を置いた事業を展開していきます。</p> <p>あわせて、新たに研究開発拠点を整備するなど、選手の競技力向上と競技スポーツとしての障がい者スポーツの振興を図ります。</p>
------------------	---

主な施策の方向性	これまでの取組
【施策1】 大阪府障がい者スポーツ大会やスポーツ体験教室の開催	<p>●障がい者スポーツの競技性を高めるとともに、障がい者一人ひとりの競技力の向上を図ることを目的に、大阪府障がい者スポーツ大会を開催した。【再掲】</p> <p style="padding-left: 20px;">→ 参加者数 H24 914名 H25 918名 H26 910名 H27 904名 H28 916名</p> <p>●障がい者スポーツの裾野を拡大するため、各種のスポーツ体験教室を実施した。【再掲】</p> <p style="padding-left: 20px;">→ 体験教室例</p> <p style="padding-left: 40px;">H24 ビームライフル・アイススケート・卓球</p> <p style="padding-left: 40px;">H25 アイススケート</p> <p style="padding-left: 40px;">H26 アイススケート・フライングディスク・ボッチャ 車椅子バスケット・サウンドテーブルテニス</p> <p style="padding-left: 40px;">H27 車いすハンドボール・ボッチャ・卓球・陸上・ シッティングバレーボール</p> <p style="padding-left: 40px;">H28 アイススケート・サッカー・アンプティサッカー等</p>
【施策2】 全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣	<p>●障がい者のスポーツの振興と国民の障がい者に対する理解と認識を深めることを目的に開催される全国障がい者スポーツ大会に選手団を派遣し、選手自身が競技力レベルを知ることで、より一層の競技力の向上を図っている。また、初出場選手の選抜に配慮することにより、大阪府大会出場への意欲を高め、参加者の裾野拡大を図っている。</p> <p>大会実施競技については強化練習会を各競技ごとに5日間実施しており、獲得メダル数はH26年度は東京都に次ぐ2位と、徐々に成果が表れている。【再掲】</p> <p style="padding-left: 20px;">→ 獲得メダル数</p> <p style="padding-left: 40px;">H24 個人 97 団体1 H25 個人93 団体1 H26 個人101 団体1 H27 個人106 団体1 H28 個人96 団体1</p>

<p>【施策3】 企業、競技団体との協同による障がい者スポーツの競技力の向上</p>	<p>●陸上、水泳等を中心にアスリート強化練習会・選手育成練習会を定期的を実施し、競技力の向上に努めている。</p>
<p>【施策4】 ジャパンパラリンピック水泳競技大会の大阪府での継続開催</p>	<p>●（H3年度から東京で開催、H9年の「ふれ愛びつく大阪」を機に、大阪への誘致（なみはやドーム）が決定） 東京オリンピック・パラリンピック開催決定を機に、H27年度より再び東京開催となった。</p> <p>→ 参加選手数 H24 221名 H25 226名 H26 252名</p>
<p>【施策5】 障がい者スポーツの専門知識を有する大学、企業等との連携によるアスリートの競技力の向上</p>	<p>●障がい者スポーツにおける競技スポーツ分野の指導力等を高めることを目的として、H25年度に大阪障がい者スポーツ協会内に、大学教授等を委員として「障がい者スポーツの振興に関する研究会」を設置した。トレーニングプログラム・障がい者スポーツ行事の企画・運営マニュアル・障がい者スポーツ指導マニュアル等の開発を目指す。【再掲】</p> <p>→ マニュアル骨子完成、今後活用予定</p>
<p>【施策6】 障がい者スポーツの振興を行う団体の育成・支援</p>	<p>●ファインプラザ大阪に「大阪府障がい者スポーツ協会」の事務局（「大阪障害者フライングディスク協会」「近畿身体障害者水泳連盟」の事務局も兼ねる）を設置した。また、各市町村や障がい当事者団体のスポーツ大会イベント等の開催支援や審判員の派遣等を通じて障がい者スポーツの振興を図っている。【再掲】</p> <p>●大阪府レクリエーション協会において「障がいのある人となない人のスポーツ・レクリエーション交流事業講習会」を開催した。【再掲】</p>